

申請準備ワークシート 記入例 1

事業名 (インターネット申請の入力項目番号 76) (事業内容を端的に表してください)
ウォーキングの実施等による腰痛改善

※細枠内：事業内容の検討にあたっての準備のための項目です。
太枠内：インターネット申請画面で実際にご入力いただく項目です。
本ワークシートは「申請添付資料 (Excel)」のワークシート 4 枚目にあります。
(ご記入は任意です。ご記入・ご提出いただいた場合は審査の参考資料とします)

①と⑤がつながるように心がけてご記入ください。

1 取り組みたい課題 (現状はどうなっているのか?)

腰痛により、以下の状況である。

- ・会社に通勤するのも困難となり、このままでは、休職を余儀無くされ、一家の生活が成り立たなくなる可能性がある。
- ・痛みが強く、生活するのが精神的・肉体的に辛い。
- ・休日に家族サービスができず、子供がさみしそう。

2 原因と解決策 (どういった論理で、事業内容を考えたか?)

<直接原因>

- ・医師の判断では、体重が1年で60kgから80kgに増加したことが原因である。

<根本原因>

1. 運動不足
2. ストレス等による食事量急増
3. 老化による基礎代謝低下

<解決策>

- ・家族と協力し、主原因かつ有効性の高い①②の観点で体重を適正値 (60kg) まで減らす。

5 事業目的 (インターネット申請の入力項目番号 79) (中長期的、最終的にどのような状態を目指すか?) 350文字以内 (スペース含む)

<中長期 ※3年後>

- ・体重を60キロに戻し、腰痛の大幅な改善を行う。

<最終目的>

- ・仕事を続け、家族を養う。
- ・腰痛のない健康な生活を送る。
- ・強い絆で結ばれた幸せな家族となる。

本事業の実施によって団体が実現しようとする、期待される波及効果を、社会的背景や解決したい課題を踏まえて350文字以内で記入してください。
また、中長期目標と、何年後にその目標を達成する見込みかをあわせてご記入ください。

3 事業内容 (助成金を使って行う事業・活動の内容) 700文字以内 (スペース含む)

1. ウォーキングの実施
 - (1) 時期：9月1日～11月30日 計15回
 - (2) 場所：神奈川県横浜市 (自宅周辺)
 - (3) 対象者：自分と配偶者 (合計2名)
 - (4) 内容：会話を楽しみながらのウォーキング
2. 各種研修への参加
 - (1) 時期：7月頃予定 (計2回)
 - (2) 場所：東京都港区
 - (3) 対象者：自分と配偶者 (合計2名)
 - (4) 内容：
 - a. 調理師による最新の食事制限手法の研修
 - b. 心理学者によるストレス制御トレーニング研修

助成金を使って行う事業・活動の内容を700文字以内で記入してください。
どこで、いつ、誰を対象に何を行うのが明確にわかるよう、具体的な数字も含めて箇条書きで記入してください。

番号の振り方等の体裁は、記入例に必ず従ってください。

1、2などの英数字、英文字は半角で、「.」「~」「:」「()」などの記号は全角でご記入ください。

※なお、前年度からの継続事業でご申請される場合は、前年度の助成契約書に記載の事業内容にならって記入してください。

4 事業目標 (インターネット申請の入力項目番号 80) (単年度の事業の成果を、何の指標で図り、どこまで達成したいか?) 700文字以内

<事業1の目標>

1. ウォーキングは合計200km以上行う。

<事業2の目標>

2. 一日の食事での摂取カロリーを2000キロカロリー以下にする。
3. ストレスを制御できるようになる (5段階方式によるストレスレベル自己評価シートを活用し、before-after 比較を行う)。

<事業全体の目標>

4. 体重を5kg減らす。
5. 鎮痛剤摂取量を半減できるレベルまで、腰痛を軽減する。

事業目的を将来実現するための事業目標として、以下の2点を明確に700字以内で記入してください。

- (1) 1年後の事業完了時点の到達目標として、何をどういう状態にするのか?
例えば、受益者にもたらされる状態や当初からの変化
- (2) (1)の事業成果を測定する際の根拠
(どのように確認するのか? 数値目標がある場合、どのような方法で成果測定するのか?)

※こちらの記入例は、あくまで事業の組み立て方をわかりやすくお伝えするために作成したものです。

実際の日本財団助成事業では、非営利活動・公益事業を行う団体が行う事業を対象としており、個人による個人のための事業は助成の対象にはなりません。

2ページ目以降の記入例もご参照ください。

申請準備ワークシート 記入例2

事業名 (インターネット申請の入力項目番号 76) (事業内容を端的に表してください)
医療的ケアに対応した地域連携ハブ拠点づくり

※細枠内：事業内容の検討にあたっての準備のための項目です。
太枠内：インターネット申請画面で実際にご入力いただく項目です。
本ワークシートは「申請添付資料 (Excel)」のワークシート 4 枚目にあります。
(ご記入は任意です。ご記入・ご提出いただいた場合は審査の参考資料とします)

①と⑤がつながるように心がけてご記入ください

1

取り組みたい課題 (現状はどうなっているのか?)

日本の周産期・新生児医療体制の進歩によって救える命が増えると同時に、医療的ケアを日常的に必要とする子どもが増えている。
現在の日本の医療政策では、急性期が過ぎて症状が安定した患者は在宅療養生活に移るケースが多い。
難病児が退院して自宅に戻った場合、人工呼吸器や胃ろうなど、生命の維持には医療器具が欠かせない場合も多く、在宅での医療ケアは主に家族が担うことになる。
難病児とその家族は、治療や介護のために地域で孤立しがちになる。仕事との両立に困難をきたす場合もある。

2 原因と解決策 (どういった論理で、事業内容を考えたか?)

<原因>
・地域で難病児の一時預かり等受け入れ先がない。
・家族が治療や介護で忙しく、病院以外の地域との接点がない。
・難病児についての相談窓口やイベント情報があっても、当事者家族に情報が行き届いていない。

<解決策>
・家と病院以外で難病児が日中の時間を過ごせるよう、多職種の連携を強化する。
・難病児とその家族と地域住民との交流の接点を作る。
・地域の相談窓口やイベント情報を、情報を必要とする当事者家族に適切な形で届ける。

5

5 事業目的 (インターネット申請の入力項目番号 79) (中長期的、最終的にどのような状態を目指すか?) 350 文字以内 (スペース含む)

<中長期 ※3年後>
・多職種の連携および事例共有が進むことにより、東京都港区において難病児のいる家庭の半数以上が地域で孤立しない状態となる (家と病院以外に居場所が確保されている)。

<最終目的>
難病の子どもが退院し自宅生活を始める際や、成長に伴いライフステージが変化する際、病氣と闘う時等を含め、地域の連携先とともに切れ目ない相談体制や生活支援サービスを提供することにより、難病児やその家族が孤立せず安心して暮らせる地域づくりを目的とする。

本事業の実施によって団体が実現しようとする、期待される波及効果を、社会的背景や解決したい課題を踏まえて 350 文字以内で記入してください。
また、中長期目標と、何年後にその目標を達成する見込みかをあわせてご記入ください。

3

3 事業内容 (インターネット申請の入力項目番号 81) (助成金を使って行う事業・活動の内容) 700 文字以内 (スペース含む)

- 多職種による事例検討会
(1)時期：2019年4月～2020年2月 (計8回)
(2)場所：東京都港区
(3)参加者：160名 (医療従事者、相談支援専門員、教育関係)
(4)内容：事例報告、意見交換
- 地域交流イベントの実施
(1)時期：2019年7月
(2)場所：東京都港区赤坂
(3)参加者：200名 (医療的ケア児、家族、ボランティア、一般参加者等)
(4)内容：関係団体の活動発表、地域企業の協賛によるワークショップ等
- 家族向け小冊子の作成配布
(1)内容：体験談、相談窓口およびイベント情報
(2)配布先：小児科病棟、交流サロン等
(3)部数：500部

助成金を使って行う事業・活動の内容を 700 文字以内で記入してください。
どこで、いつ、誰を対象に何を行うのかが明確にわかるよう、具体的な数字も含めて箇条書きで記入してください。

番号の振り方等の体裁は、記入例に必ず従ってください。
1、2 などの英数字、英文字は半角で、「.」「～」「:」「()」などの記号は全角でご記入ください。

※なお、前年度からの継続事業でご申請される場合は、前年度の助成契約書に記載の事業内容にならって記入してください。

4

4 事業目標 (インターネット申請の入力項目番号 80) (単年度の事業の成果を、何の指標で図り、どこまで達成したいか?) 700 文字以内

- 多職種による事例検討会
・参加者同士による連携事例数の増加 検討会開始前と比較し 30%増 (参加者ヒアリングにて調査)
- 地域交流イベントの実施
・参加者のうち新規参加家族数 10 家族以上
・一般参加者 参加者全体の 30%以上
・参加者の満足度 80%以上 (参加者アンケートにて調査)
- 家族向け小冊子の作成配布
・配布協力先：20 カ所
・冊子による相談件数、イベント来場件数 50 件以上

事業目的を将来実現するための事業目標として、以下の 2 点を明確に 700 字以内で記入してください。
(1) 1 年後の事業完了時点の到達目標として、何をどういう状態にするのか? 例えば、受益者にもたらされる状態や当初からの変化
(2) (1) の事業成果を測定する際の根拠 (どのように確認するのか? 数値目標がある場合、どのような方法で成果測定するのか?)

事業目的、事業目標、事業内容の検討にあたっては、助成金申請ガイドの「4. 審査の視点」をご参照ください。ご申請いただいた事業において、審査の 8 つの視点がどれだけ満たされているか総合的に判断し、審査を行います。

申請準備ワークシート 記入例 3

建築・機器整備事業の場合

事業名 (インターネット申請の入力項目番号 76) (事業内容を端的に表してください)
 夢野未来市の特産品を活かした障害者就労モデル構築 (一般就労)

※細枠内：事業内容の検討にあたっての準備のための項目です。
 太枠内：インターネット申請画面で実際にご入力いただく項目です。
 本ワークシートは「申請添付資料 (Excel)」のワークシート 4 枚目にあります。
 (ご記入は任意です。ご記入・ご提出いただいた場合は審査の参考資料とします)

1 取り組みたい課題 (現状はどうなっているのか?)

障害者の働く場所の選択肢が少なく、働く場所があっても福祉施設ではたらく障害者が得る月額工賃は全国平均 1 万数千円という状況である。
 一方で、夢野市では農業が盛んで地産の伝統野菜が多く生産されているが、市民や市外からの観光客が夢野市産の農産物を味わえる拠点が無いため情報発信力が弱く、一般的にも知名度が低い。

①と⑤がつながるように心がけてご記入ください

2 原因と解決策 (どういった論理で、事業内容を考えたか?)

<原因>
 ・障害者が働く福祉施設が一般水準の賃金を支払えるビジネスモデルを確立できていない。
 ・市民や市外からの観光客が夢野市産の農産物を味わえる拠点が無い。

<解決策>
 ・一般水準の賃金を支払うことが可能なビジネスモデルを確立する。
 ・市民や市外からの観光客が夢野市産の農産物を味わえる拠点を新たに整備することで、情報発信の拠点とする。

5 事業目的 (インターネット申請の入力項目番号 79) (中長期的、最終的にどのような状態を目指すか?) 350 文字以内 (スペース含む)

<中長期 ※3 年後>
 ・集客数：200 名/日、60,000 名以上/年
 ・支払賃金：月額 12 万円～15 万円/人 (時給 1,000 円×6 時間×20 日程度)

<最終目的>
 障害者が一般水準の賃金を得られる就労の場を確保することで、障害者が「あたりまえに地域ではたらく」ことが可能な社会を実現する。
 また、夢野市産農産物の魅力を広く情報発信することで、地域の活性化につなげることを目的とする。

本事業の実施によって団体が実現しようとする、期待される波及効果を、社会的背景や解決したい課題を踏まえて 350 文字以内で記入してください。
 また、中長期目標と、何年後にその目標を達成する見込みかをあわせてご記入ください。

3 事業内容 (インターネット申請の入力項目番号 81) (助成金を使って行う事業・活動の内容) 700 文字以内 (スペース含む)

物件現況 空き店舗
 取得形態 個人より賃貸借 (7 万円/月)
 工事内容 屋根工事、内・外装工事、電気、水道、ガス工事他
 機器整備 厨房機器、食器類一式
 施設名称 「夢野未来 (ゆめのみらい)」
 整備場所 ●●県夢野市未来町 1-1
 面積 敷地 150.00m² 延床 260.00m²
 構造 鉄骨コンクリート造 2 階建
 施設概要 飲食スペース、料理教室スペース、調理室、農作物販売スペース他
 就労人数 10 名
 支払賃金 月額 10 万円～12 万円/人 (時給 900 円×6 時間×20 日程度)

助成金を使って行う事業・活動の内容を 700 文字以内で記入してください。
 どこで、いつ、誰を対象に何を行うのが明確にわかるよう、具体的な数字も含めて箇条書きで記入してください。

番号の振り方等の体裁は、記入例に必ず従ってください。

1、2 などの英数字、英文字は半角で、「.」「~」「:」「()」などの記号は全角でご記入ください。

該当する項目はすべてご記入ください。

4 事業目標 (インターネット申請の入力項目番号 80) (単年度の事業の成果を、何の指標で図り、どこまで達成したいか?) 700 文字以内

- 活動目標
 - 夢野市特産の農産物を仕入れ、一流料理人の指導のもとで魅力的な独自メニューで飲食サービスを提供する。
 - 料理人やサービス提供者として障害者を積極的に雇用し、一定期間を終えた研修者は各地方で就職活動を行い、また、同施設で継続的に就労を行えることも可能とする。
- 数値目標
 - 集客数：100 名/日、30,000 名以上/年
 - 雇用人数：登録 10 名、就労 7 名以上

事業目的を将来実現するための事業目標として、以下の 2 点を明確に 700 字以内で記入してください。

- 1 年後の事業完了時点の到達目標として、何をどういう状態にするのか？
 例えば、受益者にもたらされる状態や当初からの変化
- (1) の事業成果を測定する際の根拠
 (どのように確認するのか？ 数値目標がある場合、どのような方法で成果測定するのか?)

現在、建築事業で助成対象となるのは、支援の柱に合致し、かつ全国的にモデルとなる建物のみに限らせていただいています。建築事業のご申請をお考えの方は、必ず事前に助成の対象となるかどうかを担当部署までお問合せいただくようお願い致します。

[お問合せ先はこちら](#)

事業目的、事業目標、事業内容の検討にあたっては、助成金申請ガイドの「4. 審査の視点」をご参照ください。ご申請いただいた事業において、審査の 8 つの視点がどれだけ満たされているか総合的に判断し、審査を行います。